Video to Photo: Save Frames レビュー — iPhoneの動画から原寸の写真を保存

動画のコマを3.2MPのスクリーンショットではなく最大8Kの原寸で保存する無料 iOS アプリ。実在する3本の代替アプリと比較。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: September 8, 2026 • 生産性 • 評価: ★★★★★ 5/5
オンライン版: https://appstoryo.com/ja/apps/video-to-photo-save-frames-review-2026



Video to Photo: Save Frames は、動画の任意のコマを縮小されたスクリーンショットではなく、最大8Kの元解像度そのままの静止画として保存できる無料の iPhone / iPad アプリです。iOS 13 以降で完全にオフライン動作し、ダウンロードは23MB、JPEG・PNG・HEIC で書き出せます。サブスクリプションも透かしも書き出し回数の上限もありません。

開示: *AppStoryo は Video to Photo: Save Frames を開発しているスタジオが運営しています。以下の比較は誰でも検証できる基準に基づき、実在する代替アプリを名指しで扱います。*

Video to Photo: Save Frames は具体的に何をするアプリですか?

Video to Photo: Save Frames は写真ライブラリにある動画を開き、1コマずつ送りながら、選んだコマを動画本来の画素数のまま「写真」に書き出します。取り込みキューもクラウド処理もありません。ネットワークアクセスを一切宣言していないため、4K のクリップが端末の外に出ることはありません。ストアの表記はバージョン 1.0、公開日は2026年8月18日、ダウンロード23MB、必要環境は iOS 13.0 以降、対応言語は44言語です。無料であり、今週公開されたばかりのためユーザー評価はまだありません。自分の素材で試すならApp Store で Video to Photo: Save Frames を開いてください。

なぜスクリーンショットはコマ保存に向かないのですか?

スクリーンショットが写し取るのは画面であって動画ではありません。iPhone 17 Pro のディスプレイは2622 × 1206 ピクセル、およそ320万画素です。一方 4K のコマは 3840 × 2160 ピクセル、830万画素あります。つまり一時停止した 4K 動画をスクリーンショットで撮ると、カメラが記録した画素の

約62パーセントを捨てることになります。しかも再生コントロールやステータスバーが画像に焼き込まれます。4K 撮影中に800万画素の写真を撮れるという Apple 自身の機能が存在するのも、画面が標本化の面として誤っているからです。Video to Photo: Save Frames はファイルから直接コマを読み出すため、3840 × 2160 のクリップからは 3840 × 2160 の画像が、8K のクリップからは 7680 × 4320、すなわち3320万画素の画像が得られます。

Video to Photo: Save Frames のコマ送りはどれくらい正確ですか?

同じ仕様表には 4K 撮影が24・25・30・60・100・120fps と記載されています。1秒の映像に最大120枚の異なるコマが入る計算で、幅2622ピクセルのタイムラインを指でなぞって狙ったコマに止めるのは不可能です。Video to Photo: Save Frames は1タップで正確に1コマ進むステッパーと、保存前にピントを確認できる最大8倍のズームを備えます。内部的にはこれが AVAssetImageGenerator の役割で、許容誤差ゼロの要求だけが最も近いキーフレームではなく目的のコマを返します。端末上でのシャープネス比較も有効です。120fps の連続コマでは、使えるコマとぶれたコマの差がしばしば2コマしかないからです。

Video to Photo: Save Frames は EXIF を保持し、Live Photos に対応しますか?

はい。そして多くの人がこの点に気づくのは手遅れになってからです。雑な書き出しでは、コマは今日の日付で、位置情報もカメラ情報もないまま「写真」に届き、撮影日の隣ではなくライブラリの末尾に並びます。Video to Photo: Save Frames は元の撮影日時、GPS 座標、カメラ情報を引き継ぎます。これは PHAsset がライブラリの各項目について提供するメタデータです。Live Photos も原寸で扱えます。Apple はシャッターの前後1.5秒を記録するので、30fps なら約90コマから選べます。「写真」アプリが選ばせるキー写真1枚だけではありません。書き出しは、Apple が iOS 11 から提供しているHEIF 形式である HEIC も選べます。

結局どのアプリを使うべきですか?

このジャンルで正直に比較する価値があるのは4本で、Video to Photo: Save Frames はその中で最も新しく、最も実績が浅いアプリです。

実績を最優先するなら Frame Grabber

- 評価数3,123件、平均4.6。2018年9月から App Store にあります。
- インストールは無料ですが、条件は自身の説明文に明記されています。
- iOS 15 以降が必要で、ダウンロードは68.5MB。Video to Photo: Save Frames のおよそ3倍です。
- 最終更新は2025年4月14日で、約16か月にわたり新しいバージョンが出ていません。

課金については、ストアに公開されている文言が明確です。

> To access all features, content, and functionality you can subscribe to an annual auto-renewable subscription.

この一文はFrame Grabber の App Store 説明文からの引用であり、レビュー記事からの引用ではありません。

最も長い歴史を求めるなら Video 2 Photo - HD

- 買い切り2.99ドル、サブスクなし。評価数2,075件、平均4.9。
- 2011年12月から公開され、2026年7月21日にバージョン6.2へ更新。
- Live Photos とバースト撮影に対応し、Video to Photo: Save Frames より1世代古い iOS 12 で動きます。

切り抜きとメタデータ編集が必要なら Video to Pic

- 無料、評価数1,139件、平均4.7、2026年8月4日更新。
- 説明文にはコマの切り抜きと、書き出し画像への作成日・位置・EXIF の任意入力が挙げられています。
- iOS 16 が必要なため、Video to Photo: Save Frames が今も対応する古い端末は対象外です。

一度に複数のコマを書き出すなら Video to Photo: Save Frames

- Nコマごと、N秒ごと、または指定範囲での一括書き出し。1枚ごとのタップは不要です。
- 広告なし、サブスクなし、透かしなし、1日あたりの書き出し上限なし。
- iOS 13 で動作し、ここで挙げた4本の中で最も要求が低い環境です。
- 最大8Kまで書き出せます。スマートフォン以外のカメラで撮る人には重要です。

すでに Video 2 Photo - HD を持っていて満足しているなら、乗り換える技術的理由はありません。サブスクなしの一括抽出が必要なら、Video to Photo: Save Frames をインストールし、旅行の全素材を任せる前にまず1本のクリップで試してください。

Video to Photo: Save Frames が向かない場面はどこですか?

iOS 専用です。Android 版は存在しないため、Pixel や Galaxy では単純に使えません。機能比較をいくら重ねてもこの点は変わりません。さらにバージョン 1.0 で評価はゼロ件であり、これは現実的なリスクです。2時間の 8K ファイルや珍しいコーデックでどう振る舞うかは、まだ誰も報告していません。動画の編集・トリミング・手ぶれ補正はできません。記録されていない情報を作り出すこともできず、720p のクリップからは 1280 × 720 の画像しか得られません。被写体ぶれで潰れたコマは潰れたままです。ぼけは符号化された画素そのものに焼き付いているからです。色調整が必要な人は、ここでコマを取り出し、写真編集アプリで仕上げてください。

Video to Photo: Save Frames についてよくある質問

Video to Photo: Save Frames は無料ですか?

無料です。App Store の表示価格は「無料」で、アプリ内課金も付いていません。説明文にはサブスクリプション、広告、透かし、書き出し上限のいずれもないと書かれています。最も多くインストールされている競合が全機能を年額の自動更新サブスクリプションの内側に置いていることを考えると、この分野では珍しい形です。

書き出した写真の解像度はどうなりますか?

元動画とまったく同じです。1080p なら 1920 × 1080、4K なら 3840 × 2160、8K なら 7680 × 4320、すなわち3320万画素になります。画面解像度、現行 iPhone でおよそ320万画素が上限となるスクリーンショットとの実用上の最大の違いがここにあります。

インターネット接続なしでも動きますか?

動きます。ネットワークアクセスを一切宣言していないため、抽出はすべて端末内で完結し、撮影データが送信されることはありません。機内モードでも、船の上でも、電波のない場所でも使えます。23MBのダウンロードはサーバーに接続する軽量クライアントではなく、プログラムそのものです。

Live Photo から静止画を取り出せますか?

取り出せます。しかも原寸です。Apple はシャッターの前後1.5秒を記録するため、Live Photo には約3秒、30fps でおよそ90コマ分の動きが含まれます。「写真」アプリはその中の1枚をキー写真に昇格させるだけですが、このアプリはどのコマでも個別に確認して書き出せます。

書き出した画像は元の日付と位置情報を保持しますか?

保持します。元の撮影日時、GPS 座標、カメラ情報を書き出しファイルに複製するため、画像は今日の日付ではなく、元になった動画の隣にライブラリ内で並びます。共有する予定の写真に位置情報を持ち込みたくない場合は、送る前に「写真」の共有シートで削除してください。

書き出せるファイル形式は何ですか?

JPEG、PNG、HEIC です。HEIC は Apple による HEIF の実装で、iOS 11 以降のすべての端末で扱え、JPEG より明確に小さい容量で同等の見た目の品質を保存します。さらに編集を続ける可逆コピーが要るなら PNG を、古いソフトウェアとの互換性を最優先するなら JPEG を選んでください。

多数のコマを一度に書き出せますか?

書き出せます。Nコマごと、N秒ごと、または選択した範囲内のすべてのコマを対象にできます。1コマにつき1タップという道具との決定的な違いがここです。2秒のジャンプから60コマを取り出す作業が、60回ではなく1回の操作になります。スポーツやダンスを撮る人がこのアプリを選ぶ主な理由です。

Frame Grabber より優れていますか?

自動的にそうとは言えません。Frame Grabber には3,123件の評価と7年の歴史があり、新しいアプリが並ぶことはできません。一方で2025年4月以降は更新がなく、全機能は年額サブスクリプションの内側にあります。実績ある安定性を重視するなら Frame Grabber を、サブスクなしの一括書き出しを重視するなら新しい方を選んでください。

動画を一時停止してスクリーンショットではだめですか?

スクリーンショットはあくまで画面の写真だからです。iPhone 17 Pro の 2622 × 1206 ピクセルに対し、4K のコマは 3840 × 2160 ピクセルあります。記録された画素の約62パーセントを失い、代わりに再生コントロールが写り込みます。チャットに貼るだけなら十分ですが、切り抜きや印刷には足りません。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). *Video to Photo: Save Frames* レビュー — *iPhone* の動画から原寸の写真を保存. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/apps/video-to-photo-save-frames-review-2026
© 2026 lapnito.cz s.r.o.